

平成24年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 川 口 雅 丈

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

希 望 小 松 健

共 産 党 佐 藤 純 子

公 明 党 松 田 豊 臣

フ ォ ー ラ ム 2 1 佐 原 孝 夫

市 民 の み か た 佐 藤 哲 治

秋 水 会 岩 谷 政 良

市 民 ク ラ ブ 渡 辺 良 雄

秋 水 会 齊 藤 善 悦



1 市長の政治姿勢について

- (1) 就任以来3年8カ月にわたるみずからの市政運営について、どのような総括をするのか
- (2) 本市の目指す「ともにづくり ともに生きる 人・まち・暮らし」を実現するために、引き続きリーダーシップを発揮し、市政運営の舵取り役を担うべきと考えるが、市長の決意はどうか

2 エネルギー施策について

- (1) メガソーラー事業に対する基本的な考えについて
- (2) 再生可能エネルギーの活用による経済波及効果について、どのように考えているのか

3 観光施策について

- (1) 東北六魂祭の誘致実現の可能性について
- (2) 大型コンベンション誘致の実現に向けた活動の強化について

4 中心市街地の活性化について

- (1) エリアなかいちのにぎわい創出について
  - ア アクセスの利便性向上に向けた取り組みについて
  - イ 民間活力によるにぎわい創出について
- (2) 中心市街地循環バスの実証運行の結果を踏まえた課題と運行内容の見直しについて

5 障がい者施策について

- (1) 本市における障がい者数の推移等の状況及び今後の見通しはどうか
- (2) 本市における障がい者施策及び関連予算の状況と今後の見通しはどうか
- (3) (仮称)第4次秋田市障がい者プランの基本的な考え方について

6 市立秋田総合病院の地方独立行政法人への移行について

- (1) 地方独立行政法人化に関する職員への説明状況と職員の反応はどうか
- (2) 地方独立行政法人化によって、どのように患者サービスの向上が図られるのか
- (3) 市立秋田総合病院の将来像をどのように考えているのか

7 スポーツ行政について

- (1) 市民のスポーツ参加を促進するため、市民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加すべきではないか
- (2) 八橋第2球技場の全天候型人工芝化の検討状況について
- (3) ブラウブリッツ秋田のJリーグ準加盟に対する本市の対応について

8 横町地区の再生について

- (1) 横町地区のまちづくりをどのように考えているのか
- (2) 川尻広面線街路事業の今後の見通しについて

1 市長の政治姿勢について

(1) 「県政の発展は、県都から!!」のキャッチフレーズに基づく取り組みについて

ア 県政発展に寄与する本市経済の浮揚策について

イ 県政発展に寄与する本市の企業誘致のあり方について

(2) 秋田公立美術大学の設置認可について

ア 不認可の報を受けたときの心境はどうだったのか

イ 設置認可をめぐる件を経て、開学の準備が始まったことをどうとらえているのか

2 秋田公立美術大学について

(1) 地域貢献に係る地方独立行政法人の経費負担について

(2) 市内の他大学の地域貢献と新大学の地域貢献との比較について

(3) 教員による展覧会の開催について

3 保護観察対象者の再犯防止策について

(1) 保護観察対象者の雇用協力事業者に対する本市入札に係る優遇措置について

ア 入札参加資格審査の加点対象としてはどうか

イ 総合評価落札方式の評価項目に追加してはどうか

(2) 市が保護観察対象者を雇用する制度の創設について

4 女性の能力を生かす、女性に優しいまちづくりについて

(1) 人材発掘のための「女性議会」の開催について

5 「秋田美人」を利用したイメージPRのあり方について

(1) 秋田美人のイメージPRにより目指す本市の観光施策について

(2) 秋田美人キャラクター等を設定してはどうか

(3) 女性の意見の聴取と反映について

6 中心市街地のにぎわい創出について

(1) エリアなかいちにおけるイベントの開催について

ア 新秋田県立美術館正式オープン後のイベント開催のあり方について

イ にぎわい広場で飲食を伴うイベントを継続して実施していく場合における、出店を容易にするための環境整備について

(2) 回遊性を高めるためのオープンカフェイベントの開催について

7 観光PRについて

(1) 竿燈のギネスブックへの登録を目指してはどうか

(2) 観光客へ本市のさまざまな特産品や名店を紹介できる人材の育成をしてはどうか

8 健康な食生活を送るための食の健康づくり応援店について

(1) 多くの飲食店やスーパーなどに登録してもらえるように、パンフレットの作成、POP支援などのインセンティブをつけてはどうか

1 少子高齢化と人口減少社会への対応について

(1) 危機意識で臨もう、市政経営

ア 財政について

(ア) 今年度の中・長期財政見通し策定時における主たる前提条件並びに試算結果から読み取れる課題及びこれに対応する財政運営戦略について

イ 都市経営戦略について

(ア) 都市経営の根幹となる資源の分析結果から見た、本市の「強み」及び「弱み」とは、どのようなものか

(イ) 「強み」を伸ばし、「弱み」を克服する視点に立つ都市経営戦略とはどのようなものか

ウ 生活格差の拡大と社会福祉制度について

(ア) 本市における生活保護基準以下の世帯数及び生活保護の捕捉率について

(イ) 今年度を含む過去3年間における、市民負担が増加した福祉関係の保険料や国保税のそれぞれの引き上げ状況及び来年度以降の改定の動向並びに市民の現在の生活感に対する認識について

(ウ) 生活困窮世帯に対する本市の支援策について

(エ) 年金、医療、介護及び生活保護の各制度にかかわる構造的課題に対する本市のとらえ方及び今後の国への対応について

エ 行政の体制づくりについて

(ア) 進取の気概と勇気で新しい時代に挑戦する姿勢など、これから求められる職員像形成に向けた人材育成策及び自己啓発活動への取り組み状況について

(イ) 突発重大事案に迅速・的確に対応するための、市長直属の専任危機管理監の配置について

(2) コミュニティーでつくろう、元気な地域社会

ア コミュニティーをめぐる基本的事項と課題について

(ア) 市と市民、市と町内会・自治会等との関係の基礎並びにそれぞれの連携・協働の現状及び課題について

(イ) コミュニティを支える体制の確立に向けた取り組み状況について

(ウ) NPO、ボランティア等との連携・協働の現状及び課題について

イ 自助・共助・公助について

(ア) 自助・共助・公助の理論的根拠、概念及び目指すところ並びに市民理解とその浸透に向けた取り組み状況及び課題について

ウ 都市内地域分権について

(ア) 本市が目指すべき都市内地域分権の姿並びに取り組み状況及び達成度について

(イ) 都市内地域分権推進上の課題と今後の方向性について

エ 高齢者対策について

(ア) 高齢者が生き生きと輝き、社会の担い手として活躍できる環境及び仕組みづくりについて

(イ) 認知症対策の推進状況と課題について

(ウ) 高齢者の防犯・犯罪予防・交通事故防止対策への取り組み強化について

(3) 未来につながる、まちづくり

ア 都市形成の過去から未来に向けて

(ア) 1950年後半以降における本市の都市形成史の概観から学び、今後に生かすべきことについて

(イ) 少子高齢化・人口減少の著しい都心部や農地ゾーンが、空洞化や地域格差とともに衰退や活力低下を招かないための都市政策のあり方について

(ウ) 都市計画決定がされている道路及び土地区画整理事業について、コストや将来の都市機能への貢献度等の観点から、廃止や変更等、積極的な見直しをすべきではないか

イ コンパクトシティと中心市街地の活性化について

(ア) 新しい時代における本市まちづくりの理念・指針等に対する市民の理解と協力を得るための方策について

(イ) 既に拡大・拡散した本市の都市形状への認識並びにこれを踏まえたコンパクトシティの概念に基づくまちづくりの進め方について

(ウ) 人口減少が加速する現実の中で、コンパクトな市街地を基本としたにぎわいのある中心市街地を、どのように形成していくのか

ウ 土地利用方針について

(ア) 秋田市中心市街地活性化基本計画及びコンパクトシティの目指すところと、今後の市街地ゾーン及びその周辺への一定規模以上の大規模集客施設立地との関係について

(イ) 第6次秋田市総合都市計画では、市街化調整区域及び農山村部は原則として開発が抑制されることとなっているが、これの例外として、それぞれ許容されるのはどのような場合か

(ウ) 第3次秋田市国土利用計画における、農用地等の利用転換を伴う大規模集客施設の立地に対する「国土利用計画の達成に向けた必要な措置」の内容について

(4) 目指せ、「環境立市あきた」

ア 節電市民運動について

(ア) 本市がこれまで取り組んできた節電運動の概要、成果及び課題について

(イ) 本市独自の市民総参加による「秋田方式節電市民運動」を策定・展開してはどうか

イ 再生可能エネルギー・新エネルギー時代を先導する施策展開に期待するが、今後の戦略はどうか

(5) 目指せ、「健康長寿日本一」

ア 予防医療及び介護予防に向けた市民意識の醸成について

イ 次期「健康あきた市21計画」の策定において、「検診・受診率日本一」や「健康ウォーク」など、身近で取り組みやすいテーマを掲げた市民総参加による健康あきたモデルの確立と推進により、「健

「健康長寿日本一」を目指してはどうか

(6) 整えよう、就労環境

ア 本市の雇用情勢について

イ 若者の就労支援策推進上の課題及び今後の取り組み上の力点について

ウ 高齢者の雇用対策の現状、課題及び今後の施策展開について

エ 女性就労の環境整備の現状及び課題について

1 市長の政治姿勢について

(1) T P P 参加が本市の経済及び市民生活にもたらす影響について、どのように考えているのか

(2) 市民生活と自主財源確保を重視した予算編成について

ア 平成25年度は、成長戦略事業及び大規模事業等を優先して予算編成を行うとしているが、福祉や雇用拡大などの予算を確保し、市民の暮らしを守るべきではないか

イ 農林水産業、環境産業及び福祉関連産業など、本市の地域性に合った産業を発展させるための予算を充実させ、地域経済の再生と雇用拡大を図り、自主財源を確保できるよう全力を尽くすべきではないか

2 林業再生と木質バイオマスエネルギーの活用について

(1) 木質ペレットの材料が安定的に供給できるよう、林業従事者の育成や路網の整備について計画的に取り組むべきではないか

(2) ペレットストーブを普及させるために、購入した市民に助成をする考えはないか

(3) ホテルなどの宿泊施設や温泉、農産加工場などへの熱や電気の供給源として、地域の間伐材の多面的な利用を検討していくべきではないか

3 農業振興と6次産業化の取り組みについて

(1) 農商工等連携促進法及び六次産業化法に基づく、農業振興推進のための取り組み状況はどうか、また推進に当たっての課題をどうとらえているのか

(2) 農産物等の加工・販売促進に対する農商工連携の取り組み状況はどうか、また、市と農業団体及び商工団体等との連携はどのように行っているのか

#### 4 生活保護について

- (1) 子ども健全育成支援事業による学習支援の実施会場と対象学年を拡大すべきと考えるがどうか
- (2) ケースワーカーや支援員を増員する考えはないか
- (3) 保護基準の引き下げを行わないよう国に求める考えはないか

#### 5 国民健康保険制度について

- (1) 相互扶助の制度ではなく、憲法第25条に基づき国が責任を持つ社会保障制度と思うがどうか
- (2) 資格証明書を交付されている世帯が、国民健康保険税の分割納付に応じた際に、直ちに短期保険証を交付する考えはないか
- (3) 本市独自の国民健康保険税の全額免除制度を創設できないか
- (4) 一般会計からの法定外繰り入れを行う考えはないか

#### 6 介護保険制度について

- (1) 平成24年度介護保険制度改正について
  - ア 制度改正後8カ月が経過したが、訪問介護における生活援助の時間短縮によるヘルパー及び利用者への影響は把握したのか、また、その結果はどうであったのか
  - イ 国に対し、制度の見直しを求めるべきではないか
- (2) 保険料減免制度について
  - ア PRの仕方を工夫し、周知を徹底すべきでないか
  - イ 申請者の実態に合った減免ができるよう、制度を拡大すべきではないか
- (3) 国に対して国庫負担をふやすことを求めるべきではないか

#### 7 高齢者福祉の充実について

- (1) 高齢者の居場所づくりについて、個人宅や空き店舗を活用するなど、地域に合った形で整備し、運営できるように、市として助成できないか

(2) 認知症予防について先進自治体から学び、本市の対策を拡充する考  
えはないか



1 地域経済の活性化について

(1) 6次産業化の取り組み状況等について

ア 6次産業化を促進するため、今年度から資源として活用できそうな一次製品の発掘と商品開発の支援など4項目に着目した事業に取り組んでいるが、その具体的な取り組み状況、成果及び今後の計画について

(2) 新規就農の推進について

ア 新規就農者の増加や定着を図るため、見学・体験・学習・相談の場等、就農への道を順序立てて整えるべきと考えるがどうか

イ 新規就農者が地域農業者との情報交換や技術研さんなどができるよう、地域農業者とのマッチング支援を推進すべきと考えるがどうか

(3) 本市農業の振興策について

ア 本市農業の振興に当たっては、施設園芸の振興及び農産物販売施設等の整備並びに住民と農業者をコーディネートできる仕組みづくりが必要と考えるがどうか

2 防災・減災対策について

(1) 学校施設の老朽化対策について

ア 避難施設となる小中学校の管理は、事後保全型から予防保全型へ転換する必要があると考えるがどうか

イ 建物の改修履歴だけでなく劣化状況などを把握し、長寿命化のための中長期計画の策定及び推進体制を整備すべきと考えるがどうか

(2) 緊急情報受発信体制の構築について

ア 津波防災の日に実施した津波警報サイレン可聴範囲調査の評価及び今後の対策について

イ 緊急情報に関する複数の受発信体制を早急に構築すべきと考えるがどうか

### 3 廃棄物処理について

#### (1) 家庭系ごみについて

ア 有料化後から本年度末までの家庭系ごみの排出見込み量及びごみ処理手数料の見込み額は幾らか、また、来年度以降の家庭系ごみの減量施策はどうか

#### (2) ごみ処理施設について

ア 7月10日に発生した総合環境センター溶融炉整備作業事故の内容、発生原因及び再発防止策について

イ 長期間にわたるごみ処理施設の運転停止など不測の事態に備えて、代替施設を検討するなどリスク回避を図るべきと考えるがどうか

### 4 聴覚障がい者支援について

(1) 筆談や手話通訳での対応をお知らせする「耳マーク」の表示を、公共施設等で実施すべきと考えるがどうか

(2) 聴覚障がい者世帯の火災予防を促進するため、専用火災警報器設置への助成・支援策を拡充すべきと考えるがどうか

### 5 脳脊髄液減少症について

(1) ことし6月に脳脊髄液減少症の治療の一つである硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）が先進医療として認められたことから、県と連携し市民に実施医療機関に関する情報を提供すべきと考えるがどうか

(2) 市立の小中学校及び高等学校において、スポーツ外傷や交通事故等による事故発生後に、脳脊髄液減少症の症状が見られる児童生徒はいないのか、また、脳脊髄液減少症の症状が見られる児童生徒については、心身の状況に応じた配慮をすべきと考えるがどうか

### 6 子ども・子育て支援について

(1) 「地方版子ども・子育て会議」の設置及び「子ども・子育て支援事

業計画」の策定に向けた本市の考えはどうか

(2) 新制度へ移行するための準備組織を早急に設置すべきと考えるがどうか

(3) 新制度に関する情報を市民にわかりやすく周知すべきと考えるがどうか

## 7 フードバンクについて

(1) 食品関連事業者が食品廃棄物等の発生を抑制するため、賞味期限が間近となった食品や食品衛生上問題がない規格外品及び余剰生産物をフードバンク活動へ寄贈する取り組みが全国各地でふえてきていることから、本市としても各食品関連事業者等と連携しながらその体制づくりを支援すべきと考えるがどうか

## 8 除排雪対策について

(1) 融雪施設について

ア 現在、故障等により稼働しない融雪施設はどのくらいあるのか、また、今後の改修計画はどうか

イ 融雪施設の設置基準及び今後の整備計画について

(2) 除雪出動基準及び地域の雪捨て場について

ア 除雪出動基準を路面積雪深10センチメートルとしているが、今年度の除雪出動について、どのような方針で対応するのか

イ 地域の空き地等を雪捨て場として確保できるよう検討してはどうか

(3) 市民協働による地域の除排雪を積極的に推進すべきではないか、また、除排雪作業の支援制度を充実させる必要があると思うがどうか

## 9 地域の諸課題について

(1) 御所野地区におけるコミュニティー機能を有した児童館の早期整備について



## 1 市政経営について

- (1) 2期目に向かい、今後の本市のあり方をどう思い描いているのか
- (2) 市長の改選期を迎えるが、市政の継続性について、どのように考えているのか
- (3) 事業執行全般にわたり、部局間の連携はとれていると認識しているのか
- (4) 職員が通勤のため行政財産を駐車場として使用する場合の使用料について、今年度の収入見込み額は幾らか
- (5) 情報のクラウド化に対する本市の考えについて
- (6) 秋田市を応援・紹介する制度として、本市に赴任している方々を対象に「秋田市応援大使制度」を創設する考えはないか
- (7) 外旭川地区への大型商業施設の進出問題について
  - ア 平成24年9月定例会の本会議において、本年6月及び8月に、イオンタウン株式会社の代表が、情報交換等のため石井副市長を訪問したとの答弁があったが、その内容はどうか
  - イ 現在の進展状況はどうか、また、関係部局に何らかの指示は出しているのか

## 2 家庭系ごみの有料化に係る諸課題について

- (1) 家庭系ごみの有料化の現状をどうとらえているのか
- (2) 手数料収入について、平成24年度の決算見込みはどうか、また、有料化前の推計と比べ、どの程度の増減があるのか
- (3) ごみ袋の強度が弱すぎるとの声があるが、もう少し使い勝手のよいものに改善するべきと思うがどうか
- (4) 販売店によってごみ袋の価格差が生じているのか、また、生じているとすれば、是正すべきと思うがどうか

## 3 食品廃棄物の減量・リサイクルについて

- (1) 事業系廃棄物に含まれる生ごみの利活用について
  - ア 事業系廃棄物に含まれる生ごみの割合について
  - イ 生ごみ等を活用したバイオガス化事業に取り組む考えはないか
  - ウ 生ごみを減量することで、家庭系ごみの有料化を元に戻す考えはないか

#### 4 港湾を取り巻く諸課題について

- (1) 秋田港における貨物等の取り扱いの現状をどうとらえているのか、また、今後に向けた官民の動きはどうあるべきと認識しているのか
- (2) 港口部とのアクセス及び大浜上新城線整備の進捗状況はどうか
- (3) 鮮魚センターの必要性について
  - ア セリオンの指定管理者から、本市に対して鮮魚センターの設置に関する要望等はないのか
  - イ 港にある道の駅として、集客を図るためにも鮮魚センターの設置は必要と考えるがどうか
- (4) 「海フェスタおが」の開催に対する支援について
  - ア 本市が果たすべき役割とイベントへの具体的ななかかわり方はどうか、また、国、県及び民間団体とどのように連携を図っていくのか
  - イ 現在の協議状況と予算の確保に向けた今後の動向はどうか

#### 5 教育行政について

- (1) 中学校における柔道の授業について
  - ア 当初の計画どおり進んでいるのか
  - イ 指導者不足など、授業を進めるに当たっての問題は発生していないのか
  - ウ 事故防止対策など、安全面への配慮はどうなっているのか
  - エ 保護者に対する説明は十分になされ、理解を得ているのか
- (2) 教職員に対するパソコンの配付状況はどうか、また、パソコンの配付により、教職員の残業が減るなど業務の効率化が図られているのか
- (3) 通学路の現状をどう認識しているのか、また、今後、どのように安

全対策の向上を図っていくのか

(4) 市有地への教職員の駐車について

ア すべての学校を使用料の免除対象とした理由は何か

イ 駐車場使用料を徴収するに当たり、教職員組合や市職員労働組合と協議等を行っているのか、また、その協議はまとまったのか

ウ 教育委員を含め、教育委員会内では、どのような協議がなされたのか、また、その結果はどうであったのか

(5) グラウンドゴルフの普及・振興について

ア 本市における競技人口をどの程度と把握しているのか

イ 競技人口の増加に伴い、グラウンドゴルフ場が不足傾向にあると思うが、状況はどうか

ウ 北部地域に散策やグラウンドゴルフができる施設を整備する考えはないか

6 地域の諸課題について

(1) 港湾地区の一般道において、大型車の通行量が増加しているが、安全対策、騒音・振動対策及び計画的な道路整備や補修について、どう考えているのか

(2) 旧日本石油秋田製油所倉庫の保存について

ア 平成24年9月定例会において、保存に向けて検討していくとの答弁があったが、その後の検討状況はどうか

イ 具体的に、どのような形で保存していこうと考えているのか

ウ 倉庫の保存は、後背地の活性化にも寄与できると考えるが、恒久平和を願う施設にするなど、何らかのテーマ性を持たせた保存を考えるべきではないか



1 市長の政治姿勢について

- (1) これまでの市政運営を総括し、市民からどのように評価されていると考えているのか
- (2) 市長は市政運営方針を具体的に市民にどのように説明しているのか、また、市民の声をどのように聞き、市政運営にどのように反映させているのか
- (3) 市政運営に当たり、職員の能力をどのように生かしているのか

2 財政について

- (1) 新庁舎建設などの大型事業を進めても、本市財政の健全性は保たれるのか
- (2) 歳入に占める市債の割合を下げるべきと考えるがどうか
- (3) 過去に地域振興を目的として投資・建設してきた箱物については、今後、改修経費の増加が財政負担につながるものと考えられるが、その費用対効果の分析を踏まえた対応が必要ではないか

3 にぎわい創出と地域活性化について

- (1) 中心市街地冬期にぎわい創出事業費として1,390万円の補正予算を計上しているが、今後の中心市街地のにぎわい創出に関して、行政としてどのようにかかわり、いつまで支援を継続するのか
- (2) 本市全体を元気にするためには、中心市街地だけでなく、バランスよく東西南北・河辺・雄和地域の活性化も支援すべきと考えるがどうか

4 認知症対策について

- (1) 本市における認知症対策の現状はどうか、また、今後どのように取り組んでいくのか

5 放課後児童クラブについて

- (1) 放課後児童クラブの運営は、国庫補助を受けて委託しているが、利用者及び保育料の状況はどうか、また、委託料を増額して、より利用しやすい事業にすべきと考えるがどうか

6 自然エネルギーの活用について

- (1) 市内の遊休地や水路を活用し、自然エネルギーのさらなる普及を図る考えはないか

7 観光戦略について

- (1) 本市の観光施策は現状で十分と考えているのか、また、今後の取り組みとして、どのような戦略を考えているのか

8 公共交通について

- (1) 市内を運行するすべてのバスの運賃を100円のワンコインとし、年齢制限なくだれもが利用できるようにすることで、利用者の増加につながり、本市全体の活性化が望めると思うがどうか

9 市立秋田総合病院の役割について

- (1) 秋田市脳卒中・リハビリテーションセンターを設置し、脳卒中患者の早期社会復帰を支援すべきと思うがどうか
- (2) がん患者に対して高度医療を提供するためのがん治療センターを設置すべきではないか

10 学校教育の充実について

- (1) 本市の将来を担う人材の育成に向け、学校教育においては、学力向上もさることながら、児童生徒の豊かな人間性をはぐくむ教育の充実を図ることが重要であると考えているがどうか

11 小学校通学路の緊急合同点検について

(1) 小学校通学路における危険箇所の点検結果はどうであったのか、また、今後どのような対策を講ずるのか

12 災害対策について

(1) 市民による日ごろからの家庭内備蓄を促進するため、市としてどのような方策を講じているのか

13 社会福祉法人に対する指導監査について

(1) 保育所運営費の不正支出が確認された社会福祉法人に対するその後の指導はどうなっているのか



1 平成25年度予算について

- (1) 国の予算編成作業がおくれているが、本市の平成25年度予算編成はどのような考え方で行うのか
- (2) 県、市ともに骨格予算による編成の予定であるが、市民生活に影響はないのか

2 国際交流について

- (1) 平成24年度は各友好姉妹都市との周年記念の年に当たっているが、どのような交流の成果があったのか
- (2) 尖閣諸島をめぐって、現在中国との国家間の関係は冷え込んでいるが、蘭州市との交流の現状と今後の見通しについてどう考えているのか

3 第29回国民文化祭について

- (1) 全国から集まる来訪者をいかにおもてなしする考えなのか
- (2) 開催に向けた準備の進捗状況と今後のスケジュールはどうか
- (3) プレイベントの開催などにより、国民文化祭の機運を醸成していく必要があると考えるがどうか

4 新庁舎について

- (1) 建設工事の発注に向けて、総合評価落札方式の発注形態や入札参加者の構成について、現在どのような検討を行っているのか
- (2) 事業手法の検討に当たって、地元経済への波及効果の創出に意を用いるとのことであるが、本体工事のうち、電気設備や機械設備などを分離して市内企業に発注する考えはないのか
- (3) ユニバーサルデザインを取り入れた、エイジフレンドリーシティを実現する、人にやさしい庁舎にするとのことであるが、高齢者などが利用しやすいように、具体的にどのような配慮がされているのか

- (4) 防災拠点施設となる安全・安心な庁舎にするとのことであるが、河川のはんらんや津波による浸水について、どのような対策を講じているのか
- (5) 地元産木材を新庁舎の内装等に使用し、秋田の地域性を生かした庁舎にするとのことであるが、どのような箇所に使用するのか、また、市有林を活用する考えはないのか
- (6) 市外からの来訪者の窓口であり、市民ホールや市民の広場がイベントの開催や竿燈展示などに重要な機能を果たすことを考えると、商工部は分館ではなく、わかりやすく来庁しやすい新庁舎に置くべきと考えるがどうか

## 5 今冬の除排雪対策について

- (1) 例年苦情件数が多く、今年度の除排雪の体制を見直したとのことであるが、主に何を見直したのか
- (2) 地域や地区ごとの苦情件数や場所を分析し、今冬の除排雪に配慮するような工夫をすれば苦情が減ると思うがどうか

## 6 社会資本の保全と長寿命化対策について

- (1) 道路橋の長寿命化への取り組みについて、年次計画等どのような対策を講じているのか
- (2) 上下水道施設の現状はどうか、また、どのような考え方で保全対策を講じていくのか
- (3) 学校施設の老朽化対策の現状と今後の取り組みはどうか

## 7 子ども支援策について

- (1) 新たな子ども支援策は、どこに視点を置いて拡充することにしたのか
- (2) 社会全体で子育てを応援する体制づくりに、どのように取り組んでいるのか

8 教育行政について

- (1) 特別支援教育の支援体制をどのように充実させているのか
- (2) 小中学校において、秋田市子ども読書活動推進計画に基づいた読書活動の充実はどのように図られているのか



## 1 県都『あきた』成長プラン及び県都『あきた』改革プランについて

## (1) 県都『あきた』成長プランについて

ア 市長が言う「こでらえねえまち秋田市」とは、どのような街をイメージしているのか、また、市民との意識の共有を図る中で、どう実現していこうとしているのか

イ 「ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし」という基本理念をどう外部に発信し、定着させていくのか

ウ 平成25年度予算編成に当たっては、成長戦略を経済対策に特化・集中させるべきと思うがどうか

## (2) 県都『あきた』改革プランについて

ア 本プランの推進により、補助金が廃止された団体等への活動支援について

イ 公共施設使用料の見直し後における、施設の利用状況と使用料の減免状況について

ウ 職員による不祥事の続発を受けてのコンプライアンス対策について

## 2 監査について

## (1) 監査委員監査について

ア 事務量の増加や複雑化が進む中、事務処理ミスが多発しているが、現在の人員体制で実効ある監査ができていると認識しているのか、また、未収金や不納欠損に対する指導はどうか

イ 行政監査の実施も必要と思うがどうか

ウ 財政援助団体における補助金の不適正な使用が見受けられるが、この状況をどう認識しているのか、また、地方独立行政法人への移行を予定している出資団体への監査について、どう対応していくのか

エ 監査結果を、広くわかりやすく市民に知らしめる工夫はできない

か

### 3 活力ある農村集落に向けた課題について

- (1) コンパクトシティ構想で秋田市のバランスある発展を図れると考えているのか、また、同構想はいつまで続けるのか
- (2) 第6次秋田市総合都市計画において、都市構造への影響や市街化の促進など周辺環境への影響のおそれがない計画的開発については、都市計画制度を活用し許容するとしているが、具体的にどのような開発を指しているのか
- (3) この都市計画制度はどのような手続を経て、いつから運用されるのか、また、どのようにして地域の要望・意見をくみ上げるのか

### 4 新庁舎に係る諸課題について

- (1) 情報管理について
  - ア 情報ネットワークの安全確保維持のための自治体クラウドの導入について
  - イ 大規模災害時における混乱を回避するための行政情報の提供のあり方について
- (2) 木質バイオマスを含めた再生可能エネルギーの導入見通しについて
- (3) 適切な入札制度について
  - ア 実施設計から見て、市内業者が受注した場合、施工上における不安要素は考えられるのか
  - イ 総合評価落札方式による公募型指名競争入札に加え、技術的項目等のほか地域における貢献度を加味する見通しとその内容について
  - ウ 新庁舎建設工事に限定した低入札価格調査制度の基準価格の設定について
  - エ 地元業者受注による経済波及効果への見解について

### 5 公契約基本条例について

- (1) 先進地の条例には、目指すべき労務単価等が示されているが、本市

において数値を入れなかったのはなぜか

- (2) 条例効果を高めるには、適正な入札価格による契約が前提となるが、その具体策はどうか
- (3) 説明会における企業団体の反応と寄せられた意見・要望の内容について
- (4) 寄せられた意見・要望の条例への反映について

## 6 教育行政について

- (1) 小中学校におけるいじめ及び不登校の実態と対策について

- ア 小中学校におけるいじめの実態と対策について
- イ 小中学校における不登校の実態と対策について

- (2) 道徳教育について

- ア 家庭で行うべきしつけの部分が学校に持ち込まれている現状もあると思うが、P T Aで話し合うなど、学校と保護者等の連携を密にし、豊かな心をはぐくむため、道徳教育の充実を図ることが重要と思うがどう取り組んでいるのか

- (3) 学校警備員の配置について

- ア 地域における学校への支援体制が整いつつあることから、学校警備員の配置について検証し、地域力の活用による方策に切りかえるべきと思うがどうか

- (4) スポーツ・文化活動等に対する支援に当たり、共催、協賛及び後援の判断基準はどうなっているのか、また、それぞれの支援内容はどうか

## 7 農林業問題について

- (1) 暴風による農業生産施設等の復旧支援対策について

- ア 復旧対策予算の執行状況と復旧支援等の総括について

- (2) 農業団体等との連携及び複合化の推進による、秋田ブランド米の確立に向けた大型乾燥施設の整備について

- (3) もみ殻活用策も含め、草焼き等について、法的許容範囲でのガイド

ラインを作成し、農家に指導すべきと考えるがどうか

(4) バイオマス工場の誘致決定に合わせ、木質バイオマスの公共施設での利用促進を図るとともに、家庭用ストーブの普及に向けた対策及び支援を講ずるべきと思うがどうか

(5) 林道の有効活用を図るため、適期草刈り等に向けて、林道管理責任者と連携した林道管理を実施することについて

## 8 地域の諸課題について

(1) 旧上新城中学校の活用策について

(2) 大浜上新城線の秋田北インターチェンジから横山金足線までの計画路線の整備について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長公約の成果と本市を取り巻く情勢認識について
- (2) 人口減少が急激に進むと予想される今後の本市の「まちづくり」に対する考え方について
- (3) 就任当時、本市職員に不足していると感じ、求めていた点のその後の経過と現状及び期待する職員像について

2 第12次秋田市総合計画県都『あきた』成長プランにおける成長戦略について

- (1) 都市イメージ「ブランドあきた」について
  - ア 秋田市オリジナルイメージを確立するための取り組みについて
  - イ 「ブランドあきた」の確立を目指した、芸術・文化によるまちおこしについて
- (2) 地域産業の競争力強化における農商工連携、6次産業化の取り組みの現状と今後の進め方について
- (3) 観光あきた維新について
  - ア 国民文化祭を契機とした秋田城跡、地藏田遺跡、如斯亭庭園を生かした観光の取り組みについて
  - イ 千秋公園及び佐竹史料館の現状認識と今後の整備の進め方について

3 公共施設等の管理・活用について

- (1) 公共施設の老朽化対策と更新計画について
- (2) 補助金等によって整備した施設の目的外使用にかかわる規制緩和の動向について
- (3) 現在利用されていない統廃合後の学校施設や公民館などの利活用に向けた取り組みについて

#### 4 空き家対策について

- (1) 危険家屋調査事業の状況と危険家屋への対策について
- (2) 今後の空き家対策と活用について

#### 5 教育行政について

- (1) 文部科学省のいじめ問題に関する緊急調査の内容と本市の調査方法及び結果に対するとらえ方について
- (2) 小中学校の児童生徒数の現状と今後の推移、学校適正配置に向けた今後の取り組みについて

#### 6 農業振興について

- (1) 農業生産基盤の整備促進について
- (2) 国や県などと連携した農業水利施設整備及び保全管理の取り組みについて
- (3) 本市畜産の現状認識と振興策について

#### 7 地域の諸課題について

- (1) 雄和地域における小学校統合の今後の進め方について
- (2) 老朽化が著しい芝野橋の今後の対応について